

## 平成29年度静岡県環境保全型農業直接支払制度に係る 現地視察・意見交換会・評価委員会議事録

- 1 開催日時 平成30年3月27日(火)現地視察 午後1時45分～2時15分  
意見交換会 午後2時15分～3時  
評価委員会 午後3時45分～4時30分
- 2 開催場所 戸崎雅章氏有機茶園・戸崎氏宅(静岡市葵区小瀬戸)  
県庁(静岡市葵区追手町)
- 3 出席者
  - 委員  
稲垣栄洋委員(委員長)、小林昭子委員、船戸修一委員、(猪又委員欠席)
  - 県事務局  
地域農業課 遠藤課長、杉山班長、石川主任
  - 発言者
    - ・静岡市環境保全型農業協議会(事業参加団体)  
齊藤会長、戸崎氏、岩崎氏
    - ・静岡市役所 農業政策課 岡村主任獣医師
    - ・中部農林事務所 地域振興課 曾根課長、春田主任

### 4 内容

#### (1) 現地視察

静岡市環境保全型農業協議会会員である戸崎氏の有機茶園のほ場を見学しながら、当地で有機茶を行栽培する上での苦勞などについて説明を受けた。

事務局から本年度実施した有機茶園における生物多様性評価に関する生き物調査の説明を行い、実演を行った。

#### (2) 意見交換会

##### ア 環境保全型農業の支援に対する要望について

戸崎氏：有機農業を実施することは、地域の環境保全等につながるため、有機農業を実施する農業者に対しての助成を拡大してほしい。

齊藤氏：農業者は他の産業に比べて補助が多く恵まれていると感じる。環境保全型農業に関するメニューの充実を図ってほしい。

岩崎氏：有機農業に対する消費者の理解が低いいため、有機栽培の周知を行政から行ってほしい。

##### イ 環境保全型農業直接支払制度について

戸崎氏：現在の交付単価(有機農業8,000円/10a)は安すぎる。実際に係る経費を考慮すると10倍は必要であると感じる。

齊藤氏：この事業の交付金は使途に制約がなく使いやすい。

岩崎氏：若手後継者が食べていけるような金額の交付額にしてほしい。  
手間に係る分の経費の補填には少なすぎる。

#### ウ その他

戸崎氏：有機栽培は慣行栽培に比べ、樹の生育に時間がかかり収穫まで  
の間が長くなるため、差分の経費助成を検討してほしい。

Q(小林委員) 有機JAS申請には経費がどのくらいかかるのか。

A(戸崎氏) 審査料等は10~15万。その他書類作成に時間がかかる。

Q(船戸委員) 有機農産物の販路はどのようなところが多いのか。

A(戸崎氏) 直売が7割。生協や自然食品取扱店へもだしている。

Q(稲垣委員) 有機茶ではどのくらい施肥を行っているのか

A(戸崎氏) 窒素成分で18kg/年の有機肥料を投入。施肥は年2回。

### (3) 評価委員会

#### ア 議 事

(ア) 平成28年度事業実績と29年度事業実施状況について説明した。

(イ) 中間年評価について説明を行い、委員から意見を得た。

(ウ) 平成30年度交付金の主な変更点と県内の取組見込について説明した。

#### イ 質疑応答

Q(稲垣委員) 果樹では堆肥の施用が広く普及している技術であるが、実  
績が少なく感じる。何か考えられる理由があるのか。

A(事務局) 本事業はエコファーマー認定が要件となっているため、事  
業取組実績としては少ないと考えられる。

Q(小林委員) 国の予算が2年連続で足りず、次年度も足りない想定さ  
れるが、不足分は県で補填するのか。

A(事務局) 県が不足分を補填することは考えていない。

Q(船戸委員) 国際水準GAPに要件が変更したことで、これまでの申請  
者が取組を辞退するようなことがおきていないか。

A(事務局) 平成30年度要望からは大幅な取組減がみられないため、要  
件の変更による辞退は起きていないと考えられる。平成30年度の要  
望をとる以前に要件に変更については周知を徹底した。

Q(稲垣委員) 県特認水稲IPM以外はどのような取組が行われているか。

A(事務局) 茶草場農法、果樹の草生栽培及び茶IPMのメニューがある  
が、平成28、29年度の実績はなく30年度の要望も現時点ではない。

Q(稲垣委員) エコファーマー認定が障壁で本事業に取り組みなかった農  
業者について、次年度は国際水準GAPを実施すれば対象となるか。

A(事務局) なる。慣行基準から化学殺虫剤・肥料の5割削減とGAP研  
修受講、GAPの実践及び確認書による報告を行うことで支援対象  
となる。

5 配付資料


【資料】

- 資料1 環境保全型農業直接支払事業の推進
- 資料2 平成28年度環境保全型農業直接支払交付金実施結果整理表
- 資料3 平成29年度環境保全型農業直接支払交付金実施状況整理表
- 資料4 環境保全型農業直接支払交付金 中間年評価報告書
- 資料5 平成30年度交付要件の変更について
- 資料6 平成30年度環境保全型農業直接支払交付金申請状況整理表

上記のとおり平成29年度静岡県環境保全型農業直接支払制度評価委員会の審議経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成する。

平成30年4月2日

委員長

稲垣 栄彦 

議事録署名人

小林 昭子 